

調査ご協力のお願い

(男女共生と多様性に関する市民生活調査)

皆さまには、日ごろより市政に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

秋田市では、「男女共生と多様性社会」の実現に向けた施策・事業を推進するため、平成29年度に「第5次秋田市男女共生社会への市民行動計画」を策定しています。

この市民行動計画は、本市男女共生社会の指針となるもので、平成30年度から令和4年度までの5ヵ年計画となっており、今年度は策定目標の達成状況および実施後の市民の意向等を把握するため、調査を実施するものです。

本調査では、秋田市にお住まいの市民の中から3,000人の方を無作為に選ばせていただき、アンケート調査のご協力をお願いするものです。回答内容につきましては、本調査の目的以外に使用することはありません。また、回答いただきましたご本人が特定されることはございませんので、現状についてご記入ください。

つきましては、お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

秋田市長 穂積 志

ご記入に当たってのお願い

- 1 回答は、選択肢に○をつけて選んでいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 2 選択肢の中から回答を選んでもらう場合、選んでもらう数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。また、選択肢で、その他を選んだ場合は、その後にある()内に具体的な内容を記入してください。
- 3 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は、次の設問に進んでください。
- 4 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返送用封筒に入れて、**9月30日(木)まで** に投函してください。

※この調査については、株式会社東京商工リサーチ秋田支店に委託しております。

調査のお問合せ：調査事務局（委託先：株式会社東京商工リサーチ秋田支店）
電話 018-823-4455（平日 午前9時～午後5時）
FAX 018-865-3169
調査実施主体：秋田市市民生活部生活総務課 女性活躍推進担当

男女共生と多様性に関する市民生活調査

本調査は平成17年に始まり、平成23年からは5年に1回実施し、概ね同じ質問をして意識の変化を追っているもので、今回で4回目の調査となります。

今回の調査では、性の多様性の観点から①「男性」「女性」の表記は、法律に基づく事項を除き、一人ひとりが自認している性別とします。②また、「男女」の表記は性別に関わらず全ての人を含みます。

はじめに、あなたご自身のことについてお尋ねします

問1 あなたの性別を、次の1～3のうちから1つ選ぶか、あてはまらない形でお答えになりたい方は自由記載（ ）にお書きください。

1. 男性 41.6(431) 2. 女性 57.5(596) 3. 答えない 0.8(8) 自由記載 0.2(2)()

問2 あなたの年齢を、次のうちから1つ選んでください。(令和3年9月1日現在の満年齢)

1. 20歳未満 6.6(68) 2. 20～24歳 5.5(57) 3. 25～29歳 6.7(69) 4. 30～34歳 6.7(69)
5. 35～39歳 8.2(85) 6. 40～44歳 7.2(75) 7. 45～49歳 9.1(94) 8. 50～54歳 9.4(97)
9. 55～59歳 9.4(97) 10. 60～64歳 11.7(121) 11. 65～74歳 12.4(129) 12. 75歳以上 7.3(76)

問3 あなたの住んでいる地域を、次のうちから1つ選んでください。

1. 中央地区 (大町、旭北、旭南、川元、川尻、山王、高陽、保戸野、泉(JR線西側)、25.8(268) 千秋、中通、南通、檜山、茨島、八橋)
2. 東部地区 (東通、手形、手形山、泉(JR線東側)、旭川、新藤田、濁川、添川、山内、21.4(222) 仁別、広面、柳田、横森、桜、桜ガ丘、桜台、下北手、太平、大平台)
3. 西部地区 (新屋、勝平、浜田、豊岩、下浜) 8.8(91)
4. 南部地区 (牛島、卸町、大住、仁井田、御野場、御所野、15.7(163) 四ツ小屋、上北手、山手台、南ヶ丘)
6. 河辺地区 2.5(26)
5. 北部地区 (寺内、外旭川、土崎、将軍野、港北、23.5(244) 飯島、金足、下新城、上新城)
7. 雄和地区 1.8(19)

無回答 0.4(4)

問4 あなたの職業を、次のうちから1つ選んでください。

1. 正規の職員・従業員 39.7(412)
2. 非正規の職員・従業員(パート、アルバイト、派遣・契約社員等) 17.6(183)
3. 会社、団体などの役員 2.7(28)
4. 自営業(農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む) 3.4(35)
5. 専業主婦・主夫 11.8(122)
6. 学生 6.9(72)
7. 無職(専業主婦・主夫を除く) 13.6(141)
8. その他 2.2(23)

無回答 2.0(21)

問5 あなたの結婚（事実婚等を含む）や子ども（別居含む）についてお尋ねします。次のうちから1つ選んでください。

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| 1. 未婚で子どもがいない 28.5 (296) | 5. 配偶者・パートナーと離別または死別で子どもがいない 1.3 (13) |
| 2. 未婚で子どもがいる 0.9 (9) | |
| 3. 既婚で子どもがいない 7.1 (74) | 6. 配偶者・パートナーと離別または死別で子どもがいる 8.2 (85) |
| 4. 既婚で子どもがいる 52.7 (546) | |

無回答 1.4 (14)

問6 問5で3、4を選んだ方だけにお尋ねします。
夫婦の仕事について、次のうちから1つ選んでください。

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 共働きである 54.0 (335) | 3. 配偶者・パートナーだけ働いている 14.8 (92) |
| 2. 自分だけ働いている 13.9 (86) | 4. どちらも働いていない 15.0 (93) |
| 5. その他 2.1 (13) |) |

無回答 0.2 (1)

問7 あなたの現在の家族形態を、次のうちから1つ選んでください。

- | |
|--|
| 1. ひとり暮らし 13.6 (141) |
| 2. 夫婦のみ（事実婚等含む） 22.0 (228) |
| 3. 二世世代家族（親と子ども（未婚・既婚を問わず）） 50.9 (528) |
| 4. 三世世代以上での同居（親と子どもと孫など） 9.3 (96) |
| 5. その他 3.2 (33) |

無回答 1.1 (11)

次に、多様性についてお尋ねします

秋田市では、「男女」という性別だけではなく、年齢、職業、身体状況（障がい等）、国籍などにかかわらず、誰もが互いの人権を認めあい、一人ひとりが個性や能力を十分に発揮できる男女共生社会の実現を目指しており、そのためにはこうした各人の違い「多様性」を互いに尊重することが必要と考えています。

問8 秋田市として、「多様性」を互いに尊重する社会を目指していくという考え方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうちから1つ選んでください。

- | |
|--------------------------|
| 1. 大いにそうだと思う 45.5 (472) |
| 2. ある程度そうだと思う 43.6 (452) |
| 3. あまりそう思わない 4.1 (43) |
| 4. 全くそうは思わない 0.8 (8) |
| 5. わからない 5.3 (55) |

無回答 0.7 (7)

問9 あなたは、日常の暮らしの中で、各人の違い「多様性」について受け入れられないと感じることがありますか。次のうちから1つ選んでください。

1. よくある 5.3(55)
2. ときどきある 32.4(336)
3. あまりない 42.2(438)
4. まったくない 8.7(90)
5. わからない 9.6(100)

無回答 1.7(18)

問10 あなたは、次の各人の違い「多様性」のうち、社会的に尊重されていないと感じるのはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 年齢の違い 27.0(280)
2. 就労状況の違い 43.5(451)
3. 心身の状況（障がい等）の違い 42.2(438)
4. 国籍や人種の違い 32.0(332)
5. 性自認（※1）や性的指向（※2）の違い 31.1(323)
6. その他 4.0(41)（

※1 性自認：自分の性別をどう認識しているかということ

※2 性的指向：どのような性別を恋愛や性愛の対象とするのかということ

無回答 6.2(64)

問11 あなたは、LGBTQなど（※3）セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）（※4）という言葉を知っていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 言葉も意味もよく知っている 17.3(179)
2. 言葉も意味もある程度知っている 58.1(603)
3. 言葉は聞いた（見た）ことはあるが、意味はあまり知らない 17.6(183)
4. まったく知らない 6.1(63)

※3 LGBTQ：

L（レズビアン＝女性の同性愛者）

G（ゲイ＝男性の同性愛者）

B（バイセクシュアル＝両性愛者）

T（トランスジェンダー＝生まれた時に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人）

Q（クエスチョニング＝性的指向や性自認が明確でない人、定義づけしたくないなど。

クィア＝「奇妙な、独自の」という意味の言葉で、性的少数者の総称の一つ。）

※4 セクシュアル・マイノリティ：

同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーやその他の多様な性自認（自分自身の性別をどう認識しているか）や性的指向（いずれの性別を恋愛や性愛の対象とするか）を持つ人

無回答 0.9(9)

問12 あなたは、LGBTQなどセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）について、社会的な関心が高まっていると感じますか。

1. 高まっていると感じる 54.3(563)
2. 特に感じない 30.6(317)
3. わからない 13.9(144)

無回答 1.3(13)

次に、家庭生活のことについてお尋ねします

問13 あなたは、家庭生活における役割分担について、どのようにお考えですか。次のうちから1つ選んでください。

1. 家族のなかで同じように家事や育児、介護などをするのがよい。 42.8(444)
2. 家族のなかで手のあいているほうが、家事や育児、介護などをするのがよい。 46.7(484)
3. 主に女性が家事や育児、介護などをして、男性は女性を手伝う程度がよい。 6.8(70)
4. 女性だけが家事や育児、介護などをするのがよい。 0.3(3)
5. その他 2.2(23) ()

無回答 1.3(13)

問14 あなたのご家庭の実際の役割分担はどのようになっていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 家族のなかで同じように家事や育児、介護などをしている。 13.6(141)
2. 家族のなかで手のあいているほうが、家事や育児、介護などをしている。 24.5(254)
3. 主に女性が家事や育児、介護などをして、男性は女性を手伝う程度である。 33.8(351)
4. 主に男性が家事や育児、介護などをして、女性は男性を手伝う程度である。 0.6(6)
5. 女性だけが家事や育児、介護などをしている。 7.8(81)
6. 家事や育児、介護などは主に家政婦やホームヘルパーなど、外部の人に頼んでいる。 0.4(4)
7. 分担する相手がいない。(一人暮らしや、自分以外は子どもしかいない場合など) 14.2(147)
8. その他 3.6(37) ()

不明 1.5(16)

問15 あなたが普段行っている家庭の^{おこな}仕事はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 食事の準備 64.4(668) | 9. 子どもの世話 26.3(273) |
| 2. 食事のあとかたづけ 74.3(771) | 10. 子どもに対する社会ルール・マナーなどの教育 20.5(213) |
| 3. 洗濯 66.1(685) | 11. 子どもの進路や問題行動への対応 18.1(188) |
| 4. 掃除(部屋、風呂、トイレなど) 75.4(782) | 12. P T A活動 13.5(140) |
| 5. 部屋の整理(布団あげなど) 61.2(635) | 13. 看護、介護 11.0(114) |
| 6. 家の外回りの仕事(雪よせなど) 56.1(582) | 14. 隣近所との付き合い(地域活動) 32.8(340) |
| 7. ゴミ出し 59.4(616) | 15. 親戚との付き合い 36.2(375) |
| 8. 買い物 68.3(708) | 16. 特に何もしていない 5.4(56) |
| 17. その他 2.2(23) () | |

無回答 0.9(9)

問16 あなたは普段、1日のうちどれくらい家庭の仕事をしていますか。次のうちから1つ選んでください。

- | | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. まったくしない 4.5(47) | 2. 15分未満 7.9(82) | 3. 15~30分未満 11.0(114) | 4. 30分~1時間未満 15.7(163) |
| 5. 1~3時間未満 30.7(318) | 6. 3~5時間未満 17.4(180) | 7. 5~8時間未満 9.0(93) | 8. 8時間以上 3.2(33) |

無回答 0.7(7)

問17 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方がありますが、あなたはこれについてどのように思いますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 賛成 2.0(21)
2. どちらかといえば賛成 16.8(174)
3. どちらかといえば反対 30.0(311)
4. 反対 32.6(338)
5. わからない 17.6(183)

無回答 1.0(10)

次に、結婚（事実婚に対する法律婚）についてお尋ねします

問18 結婚（事実婚に対する法律婚）について、あなたの考えに近いものを、次のうちから1つ選んでください。

1. 社会的慣行からある程度の年齢になったら、結婚すべきである。 7.2(75)
2. 自分や家族の将来を考えたら、いずれは結婚すべきである。 32.5(337)
3. よい相手が見つからなければ、結婚しなくてよい。 37.9(393)
4. 自分の自由（時間・お金など）が奪われるなら、結婚しなくてよい。 3.2(33)
5. 他に打ち込めること（仕事・趣味など）があるなら、結婚しなくてよい。 6.7(69)
6. 今は考えていない。 5.7(59)
7. その他 5.6(58) ()

無回答 1.3(13)

問19 あなたは、晩婚化や未婚化の原因をどのようにお考えですか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 独身のほうが、自由だから。 42.0(436)
2. 独身のほうが、仕事に専念できるから。 9.1(94)
3. 経済的に自信がないから。 32.1(333)
4. 仕事を辞めなければいけないから。 2.2(23)
5. 将来、社会の先行きが不安だから。 13.9(144)
6. 夫婦や子育て家庭に、社会的な支援が不足しているから。 17.9(186)
7. 結婚しないことについて、世間のこだわりが少なくなったから。 32.9(341)
8. 義父母との同居や、親戚などとの人間関係が複雑になるから。 7.4(77)
9. 仕事を持つ女性が増えて、女性の経済力が向上したから。 31.3(325)
10. 女性が高学歴化したから。 3.9(40)
11. 家事や育児、介護などの負担感・束縛感が大きいから。 14.0(145)
12. 理想とする条件の相手とめぐりあわないから。 25.3(262)
13. そもそも、異性と付き合うのが面倒だから。 7.1(74)
14. 交際をスタートするチャンス、出会いが少ないから。 26.7(277)
15. 親離れ、子離れができていないから。 4.4(46)
16. 婚姻による改姓をしたくないから。 1.2(12)
17. その他 3.4(35) ()

無回答 2.3(24)

次に、教育についてお尋ねします

問20 あなたは、どんなことに気をつけて、子育てをしたらよいと思いますか。特に男の子、特に女の子、子ども（性別にかかわらず）のそれぞれについて、あてはまるものを3つまで選んで○をご記入ください。

	男の子	女の子	子ども
1. 独立心を持たせる	23.4 (243)	13.9 (144)	23.4 (243)
2. 責任感を持たせる	41.8 (433)	28.5 (296)	43.4 (450)
3. たくましく育てる	20.8 (216)	6.9 (72)	13.9 (144)
4. やさしさや思いやりのある子に育てる	44.7 (464)	56.9 (590)	65.4 (678)
5. すなおに育てる	15.9 (165)	25.6 (265)	28.2 (292)
6. 忍耐力を持たせる	17.5 (181)	10.1 (105)	17.1 (177)
7. 礼儀作法を身につけさせる	25.5 (264)	36.8 (382)	41.0 (425)
8. 食事の支度をできるようにさせる	8.3 (86)	14.3 (148)	12.0 (124)
9. 特にない	1.9 (20)	2.1 (22)	1.9 (20)
10. その他 ()	1.9 (20)	2.0 (21)	2.5 (26)

無回答 27.6 (286)・27.5 (285)・11.3 (117)

問21 男女平等の視点で学校教育を進めるうえで、あなたが取り入れてほしいことや力を入れてほしいと思うことは何ですか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 男の子、女の子と区別せず、本人の個性や能力を生かす教育をする。 74.8 (776)
2. 名簿や座席など、学校生活において男女に分ける習慣を改める。 8.6 (89)
3. 日常の学校生活のなかで、男女平等意識を養うような教育をする。 47.3 (490)
4. 男女平等意識を育てるような授業内容の工夫をする。 25.0 (259)
5. 男女平等教育のための教材や副読本を取り入れる。 7.5 (78)
6. 教職員に対し、男女平等の意識啓発、研修などを行う。 30.6 (317)
7. 管理職（校長・教頭等）に女性を積極的に登用していく。 19.1 (198)
8. 学年主任や生活指導、進路指導の教員に女性を積極的に採用していく。 11.6 (120)
9. 特にない。 7.3 (76)
10. その他 4.5 (47) ()

無回答 1.8 (19)

次に、仕事と家庭についてお尋ねします

問22 女性が職業に就くことについて、あなたはどのようにお考えですか。次のうちから1つ選んでください。

1. 女性は職業に就かない方がよい。 0.3(3)
2. 結婚するまで職業に就く方がよい。 1.6(17)
3. 子どもが生まれるまでは、職業に就く方がよい。 4.5(47)
4. 子どもが生まれたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業に就く方がよい。 20.7(215)
5. 子どもが生まれても、ずっと職業を続ける方がよい。 56.0(581)
6. その他 14.9(155) ()

無回答 1.8(19)

問23 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 男女の賃金や昇進などの格差の解消 39.6(411)
2. 保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備 76.5(793)
3. 介護支援サービスの充実 27.4(284)
4. 家事・育児支援サービスの充実 36.7(381)
5. 男性の家事・育児参加への理解・意識改革 53.1(551)
6. 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革 49.8(516)
7. 働き続けることへの女性自身の意識改革 16.3(169)
8. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革 40.3(418)
9. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実 57.6(597)
10. 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入 44.2(458)
11. その他 4.0(41) ()

無回答 2.5(26)

問24 出産・介護などでいったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. これまでの知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する。 61.8(641)
2. 仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する。 67.0(695)
3. これまでの知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する。 41.6(431)
4. 働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する。 30.8(319)
5. 家事・育児・介護の経験を生かした仕事により地域に貢献する。
(ヘルパー、保育補助、家事代行など) 14.6(151)
6. これまでの経験を生かしてボランティアやNPO活動で地域に貢献する。
(育児・介護ボランティア、PTA、防災・治安パトロール、リサイクル活動など) 10.6(110)
7. これまでの経験を生かして起業又はNPOの立ち上げを行う。
(小売店経営、IT企業設立、ボランティア団体設立など) 8.3(86)
8. 家事以外で活動する必要はない。 1.3(13)
9. その他 4.1(43) ()

無回答 2.5(26)

問25 結婚（事実婚等を含む）している方にお尋ねします。

あなたのご家庭の実際の状況はどのようになっていますか。あなたが女性の場合はあなた自身について、男性の場合はあなたのパートナーについて、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 職業に就いたことはない。 1.9(14)
2. 結婚するまで職業に就いていた。 17.3(124)
3. 子どもが生まれるまでは、職業に就いていた。 8.4(60)
4. 子どもが生まれて職業をやめ、子どもが大きくなってから再び職業に就いている（いた）。 23.1(166)
5. 子どもが生まれても、ずっと職業を続けている（いた）。 31.9(229)
6. 子どもはいない。ずっと職業を続けている（いた）。 7.7(55)
7. その他 4.2(30) ()

無回答 5.6(40)

→ **問26** 問25で1～4を選んだ方だけにお尋ねします。

その理由は何ですか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 家事、育児に専念したい（したかった）から。 57.4(209)
2. 保育施設等が充実していない（いなかった）から。 12.9(47)
3. 夫や家族の理解が得られない（得られなかった）から。 9.1(33)
4. 職場の慣行や雰囲気の仕事が続けることができない（できなかった）から。 13.7(50)
5. 仕事と家事・育児の両立は大変だ（だった）から。 37.4(136)
6. その他 11.5(42) ()

無回答 4.9(18)

問27 職業に就いている方にお尋ねします。

あなたが仕事をしている理由は何ですか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 仕事をするのは当然だから。 21.3(140)
2. 生計を維持するため。 70.5(464)
3. 家計の足しにするため。 21.9(144)
4. 家業であるから。 3.0(20)
5. 仕事をするのが好きだから。 13.7(90)
6. いったん退職すると、いまと同じ条件での再就職が難しいから。 13.1(86)
7. 将来に備えて貯蓄するため。 36.9(243)
8. 自分の自由になるお金を得るため。 23.4(154)
9. 視野を広げたり、友人を得たりするため。 6.4(42)
10. 自分の能力・技能・資格を生かすため。 20.2(133)
11. 社会(人)との関わりを大事にしたいから。 23.1(152)
12. 時間を有効に使いたいから。 5.5(36)
13. その他 2.4(16) ()

無回答 4.0(26)

問28 職業に就いている方にお尋ねします。

勤務条件や職場環境に関して現在どのように思っていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 満足である。 21.4(141)
2. どちらかといえば満足である。 45.6(300)
3. どちらかといえば不満である。 24.0(158)
4. 不満である。 8.5(56)

問29 問28で3、4を選んだ方だけにお尋ねします。

無回答 0.5(3)

その理由は何ですか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 給料、収入が少ないこと。 71.5(153)
2. 勤務時間が長いこと、または残業が多いこと。 17.8(38)
3. 休みが取りにくいこと。 31.3(67)
4. 仕事がきつく、厳しいこと。 16.4(35)
5. 転勤や異動が多いこと。 2.3(5)
6. 転勤や異動が少ないこと。希望どおり転勤や異動をさせてもらえないこと。 2.8(6)
7. 仕事にやりがいを感じられないこと。 14.9(32)
8. 職業や勤務先に将来性を感じられないこと。 18.2(39)
9. 仕事が自分の性格、適性に合わないこと。 8.4(18)
10. 自分の能力、実績が評価されないこと。 12.1(26)
11. 昇進などに不公平な取り扱いがあること。 7.0(15)
12. 結婚・出産退職や、退職勧奨についての、不文律・慣習があること。 1.4(3)
13. 地位や身分が安定していないこと。 5.1(11)
14. 人間関係がうまくいかないこと。 13.1(28)
15. いじめ、セクハラ、パワハラなどのハラスメントがあること。 11.2(24)
16. 福利・厚生制度が整っていないこと。 11.2(24)
17. その他 7.0(15) ()

無回答 1.9(4)

問30 仕事と家庭を両立するためには、どのような条件が必要だと思いますか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 男女の賃金や昇進などの格差をなくす。 26.0(270)
2. 労働時間を短縮する。 26.5(275)
3. 育児・介護休業を気がねなく利用できる雰囲気をつくる。 50.3(522)
4. 育児・介護休業を利用した人が、不利な扱いを受けないようにする。 27.3(283)
5. 育児・介護などで退職した人を、再雇用する制度を取り入れる。 14.9(155)
6. 育児・介護休業中の賃金などの給付を充実する。 14.7(152)
7. 職場内に保育施設をつくる。 11.2(116)
8. 保育時間の延長など、保育サービスを充実する。 13.7(142)
9. 職業訓練・講習会の機会を増やす。 2.3(24)
10. パートタイマーや派遣労働者の勤務条件を改善する。 14.8(153)
11. 在宅勤務や時間差出勤（フレックスタイム）など柔軟な働き方を取り入れる。 31.1(322)
12. 家事や育児・介護を家族で分担し、負担を軽くする。 24.0(249)
13. その他 2.8(29) ()

無回答 7.4(77)

次に、介護や老後についてお尋ねします

問31 現在、あなたのご家族には、介護を必要とする人がいらっしゃいますか。

1. いる 14.9(154) 2. いない 82.6(857)

無回答 2.5(26)

問32 介護を必要とする人がいる方だけにお尋ねします。
あなたは、どのように介護をしていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. ほとんど自分一人で介護していて、他人には頼まない。 11.7(18)
2. 自分で介護しているが、外部のホームヘルパーなどのサービスも利用している。 15.6(24)
3. 身内の誰かが主に介護していて、いつも手伝っている。 9.1(14)
4. 身内の誰かが主に介護していて、頼まれれば手伝っている。 15.6(24)
5. 施設入所や病院へ入院している。 40.9(63)
6. その他 5.8(9) ()

無回答 1.3(2)

問33 あなたが年をとって寝たきりになったら、身の回りの世話は誰に頼みたいですか。
次のうちから1つ選んでください。

1. 配偶者・パートナー 22.1(229) 6. 娘の配偶者・パートナー 0.2(2)
2. 自分子ども(息子でも娘でも) 4.8(50) 7. 家事代行やホームヘルパーなど、外部からの訪問 14.8(153)
3. 息子(娘がいる場合でも) 0.3(3)
4. 娘(息子がいる場合でも) 2.1(22) 8. 施設などへ入る 49.6(514)
5. 息子の配偶者・パートナー 0.1(1) 9. その他 4.9(51) ()

無回答 1.2(12)

問34 内閣府の令和元年度高齢社会白書によると、家族の介護の担い手は、66.0%が女性であるという報告(平成28年厚生労働省「国民生活基礎調査」)がありますが、あなたはどのように思いますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 女性が担うほうがよい。 1.9(20)
2. 問題はあるが、女性に負担が集中するのはやむを得ない。 14.7(152)
3. 男性も積極的に参加し、女性のみにも過剰負担にならないようにした方がよい。 41.0(425)
4. 男女区別なくおこなうのがよい。 37.4(388)
5. その他 2.7(28) ()

無回答 2.3(24)

次に、男女の人権に関わる問題についてお尋ねします

問35 あなたは、次にあげる分野において男女の地位は平等になっていると思いますか。
(ア)から(キ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	さ 男 れ 性 の い 方 る が 非 常 に 優 遇	の ど 方 ち が ら 優 か 遇 と さ い れ ば 優 い 男 性	平 等 に な っ て い る	の ど 方 ち が ら 優 か 遇 と さ い れ ば 優 い 女 性	さ 女 れ 性 の い 方 る が 非 常 に 優 遇	わ ど か ら ら な い も い え な い、
<記入例> ○○では	1	2	③	4	5	6
(ア) 家庭生活では	9.5 (98)	39.3 (408)	29.5 (306)	4.2 (44)	1.7 (18)	11.8 (122)
(イ) 就職の機会では	11.7 (121)	44.9 (466)	23.5 (244)	0.9 (9)	0.5 (5)	14.1 (146)
(ウ) 職場では	11.6 (120)	39.9 (414)	25.8 (268)	4.1 (43)	0.8 (8)	12.9 (134)
(エ) 学校教育の場では	2.1 (22)	13.3 (138)	51.7 (536)	2.7 (28)	0.5 (5)	24.4 (253)
(オ) 社会の場では (PTAや地域活動など)	4.7 (49)	23.2 (241)	29.4 (305)	9.2 (95)	1.5 (16)	26.3 (273)
(カ) 法律や制度では	7.7 (80)	30.8 (319)	29.9 (310)	3.1 (32)	1.1 (11)	23.0 (238)
(キ) 社会通念や慣習・しきたりでは	19.9 (206)	49.4 (512)	9.6 (100)	1.9 (20)	0.5 (5)	14.6 (151)

無回答 (ア)4.0 (41)・(イ)4.4 (46)・(ウ)4.8 (50)・(エ)5.3 (55)
(オ)5.6 (58)・(カ)4.5 (47)・(キ)4.1 (43)

問36 男女の経済的責任・家庭的責任について、あなたはどのように思いますか。
(ア)から(ウ)のそれぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。

	そ う 思 う	ば ど そ ち う ら 思 か う と い え	な ど い ち ら と も い え	ば ど そ ち う ら 思 か わ と い え	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
<記入例> □□は○○を担っている。	1	2	③	4	5	6
(ア)一般的に、男性は過剰な経済的責任を担っている。	18.1 (188)	48.8 (506)	18.4 (191)	3.4 (35)	5.0 (52)	2.7 (28)
(イ)一般的に、女性は過剰な家庭的責任(家事・育児・介護)を担っている。	26.1 (271)	55.7 (578)	7.7 (80)	2.7 (28)	2.4 (25)	1.6 (17)
(ウ)経済的な責任と家庭的な責任は、性別に関わらず担うことが必要である。	49.9 (517)	27.0 (280)	13.3 (138)	1.9 (20)	1.1 (11)	3.1 (32)

無回答 (ア)3.6 (37)・(イ)3.7 (38)・(ウ)3.8 (39)

問37 あなたは、次にあげるような、DV（ドメスティック・バイオレンス：夫婦や恋人の一方から加えられる暴力）にあったことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 身体的暴力（殴る、蹴る、殴るふりをする、包丁を突きつける、物を投げつけるなど） 5.0(52)
2. 精神的暴力（人格を否定する言動を繰り返す、無視する、侮辱する、自殺すると脅すなど） 9.5(98)
3. 経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを妨害する、家計を厳しく管理するなど） 2.9(30)
4. 社会的暴力（生活や人間関係を無視したり制限したりするなど） 2.7(28)
5. 性的暴力（避妊に協力しない、意思に反した性行為を強要するなど） 2.4(25)
6. 子どもを介した暴力（子どもに暴力を加える・見せる、子どもを傷つけると脅すなど） 1.4(15)
7. そのような経験はない 81.2(842)
8. その他 1.1(11) ()

無回答 5.8(60)

問38 あなたは、DVにあったとき、どこ（誰）に相談しましたか。（あったことがないかたは、もしあったとしたら、どこ（誰）に相談しますか。）あてはまるものをすべて選んでください。

1. 家族 32.6(338)
2. 友人・知人 30.5(316)
3. 同じ悩みを持つ人 4.6(48)
4. 警察 24.2(251)
5. 人権擁護委員や法務局の窓口・電話・メール等での相談 13.4(139)
6. 行政の窓口・電話・インターネット上の相談（秋田市子ども未来センター、秋田県配偶者暴力相談支援センターなど） 33.0(342)
7. 行政以外の窓口・電話・インターネット上の相談（NPO法人など） 11.2(116)
8. 弁護士 7.5(78)
9. 医師、カウンセラーなど 9.3(96)
10. どこ（誰）にも、相談しないと思う 8.2(85)
11. どこ（誰）に相談していいかわからない 11.4(118)
12. その他 3.1(32) ()

無回答 8.2(85)

問39 テレビや雑誌などのメディアの性・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。あてはまるものをすべて選んでください。

1. 性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ。 21.3(221)
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観がそこなわれている。 25.3(262)
3. 性犯罪を助長するようなおそれがある。 24.5(254)
4. そのような表現を望まない人や、子どもの目に触れないような配慮が足りない。 44.6(462)
5. 女性のイメージや男性のイメージについて、かたよった表現が目立つ。 25.1(260)
6. その他 11.0(114) ()

無回答 9.2(95)

問40 DVを防止するには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|--|
| 1. 法律・制度の制定や見直しを行う。 45.7(474) |
| 2. 犯罪の取り締まりを強化する。 40.0(415) |
| 3. 相談窓口ならびに捜査や裁判における担当者に女性を増やすなど、被害女性に配慮した環境を作る。 47.2(489) |
| 4. 被害者を支援し、暴力に対する市民運動を盛り上げる。 9.4(97) |
| 5. 被害者のための相談機関や保護施設を整備する。 53.3(553) |
| 6. 家庭における暴力を防止するための教育を充実させる。 28.2(292) |
| 7. 学校における暴力を防止するための教育を充実させる。 35.0(363) |
| 8. メディアを活用して、広報・啓発活動を積極的に行う。 19.1(198) |
| 9. 警察や医療関係者などに対し、DV防止に向けた研修や啓発を行う。 15.2(158) |
| 10. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、ゲーム、SNSなど）を規制する。 28.4(294) |
| 11. 加害者への心理的なケア、教育を充実させる。 33.5(347) |
| 12. 加害者への罰則を強化する。 47.5(493) |
| 13. その他 3.5(36) () |

無回答 3.0(31)

問41 あなたは、過去5年程度で、次にあげるような不愉快な経験をしたことがありますか。職場、学校、地域のそれぞれについて、あてはまるものをすべて選んで○をご記入ください。

	職場で	学校で	地域で
<記入例> □□された	○		
(ア) 性的な話や冗談を聞かされた	9.1(94)	0.7(7)	1.8(19)
(イ) 女(男)のくせに、女(男)だからと、差別的な言い方をされた	7.1(74)	0.8(8)	3.7(38)
(ウ) 不必要に髪や手、からだをさわられた	3.5(36)	0.2(2)	0.7(7)
(エ) 宴会でお酌やデュエットを強要された	3.3(34)	0.1(1)	0.4(4)
(オ) 交際を強要された	0.5(5)	0.0(0)	0.2(2)
(カ) 性的な行為を強要された	0.4(4)	0.1(1)	0.5(5)
(キ) 性的な噂をたてられた	0.7(7)	0.4(4)	0.2(2)
(ク) 結婚の予定について、たびたび聞かれた	5.0(52)	0.0(0)	1.7(18)
(ケ) 容姿について、傷つくようなことを言われた	4.9(51)	2.1(22)	1.9(20)
(コ) 帰宅途中、後をつけられた	0.4(4)	0.1(1)	0.8(8)
(サ) 性的な内容の手紙や電話、インターネットでメッセージが送られてきた	0.7(7)	0.2(2)	1.4(15)
(シ) 性的な画像・映像等を見せられた	0.3(3)	0.3(3)	0.5(5)
(ス) 特にない	55.2(572)	48.1(499)	61.5(638)

無回答 27.9(289)・49.2(510)・30.0(311)

問42 あなたは、女性と男性が平等な立場で協力しあっていくために、行政として、どのようなことに力を入れるとよいと思いますか。次のうちから3つまで選んでください。

1. 子どものときから、学校で平等意識を育てる教育の充実。 46.9 (486)
2. 女性問題に関する情報提供の充実。 3.9 (40)
3. 各種相談事業の充実。 13.2 (137)
4. 女性の職業教育、訓練の機会の充実。 5.7 (59)
5. 男女双方に対しての意識啓発・学習機会の促進。 29.4 (305)
6. 特に男性に対しての意識啓発・学習機会の促進。 6.9 (72)
7. 就労機会や労働条件の男女格差を解消するための働きかけ。 27.6 (286)
8. 育児・保育施設の充実。 31.5 (327)
9. 在宅介護サービス、介護施設の充実。 20.5 (213)
10. 家事・育児・介護に対する社会的評価のレベルアップ。 24.7 (256)
11. あらゆる分野への女性の積極的な参加の促進。 11.2 (116)
12. 行政の政策決定などへの女性の参画・登用の促進。 9.5 (98)
13. 市民に対する検診体制などの健康管理システムの充実。 5.1 (53)
14. 男女平等に関する法律・制度の改正。 19.2 (199)
15. 特にいない。 2.1 (22)
16. その他 3.3 (34) ()

無回答 4.5 (47)

最後に、「男女共生社会」や「多様性社会」について日頃からお考えになっていることを、何でも結構ですので書きください。

※項目ごとにお書きいただいても結構です。

「多様性」

「家庭生活」

「結婚（事実婚に対する法律婚）」

「教育」

「仕事と家庭」

「介護や老後」

「男女の人権」

～ご協力ありがとうございました～
秋田市生活総務課女性活躍推進担当